

令和5年度

おおさきグリーン・ツーリズム推進協議会活動報告

おおさきグリーン・ツーリズム推進協議会は、都市と農村の交流を推進することを目的として、年に数回、県内外からの教育旅行の受け入れを中心に、子どもたちに農業などを体験してもらうことや、地域の食材を利用した田舎料理を一緒に作りながら交流を深めています。

今回は、広報紙を通じて私たちの令和5年度の活動を報告させていただきます。

令和5年度は県内の中学校、専門学校に加え、関西地区の4つの高校の修学旅行生を合計40名受け入れました。受け入れの際には、毎回おこなっている農業体験や町の史跡や施設の見学もおこないましたが、地域の方との交流活動も実施しました。

☆受け入れた2校の活動を紹介！

①大阪府立北千里高等学校

10月30日から31日に6名を受け入れました。

主な体験は、白菜植え、益丸海岸での日の出見学、ガネ作り、ピザ作り、弁当作り、横瀬古墳・コスモス畑の見学をおこないました。



②京都府立洛東高等学校

11月7日から9日に7名を受け入れました。

主な体験は、益丸海岸での日の出見学、竹はんごう作り、はんごう炊飯、FMおおさき出演、玉ねぎ植え、横瀬海岸散策、かるかん作りをおこないました。



☆活動を1つ紹介！

・モニターツアー

大崎町外の方に大崎町の良さを知ってもらい、再び訪れてもらうことを目的に募集し、大丸地区農業構造改善センターにてかるかん作りやクリスマスリース作り、新平酒造の工場見学をおこないました。

合計で10名の方に参加をしていただき、アンケートの結果からとても良かったという評価をいただきました。

